

研究評価委員会分科会の各委員からの所見について(中間評価)

課題名「 ヒートアイランド対策効果の定量化に関する研究 」

1. 主な所見

- ・ 所見 : 研究成果を論文で公表すべき
- ・ 所見 : 一般、政策への情報伝達における制約・利用条件を提示すべき
- ・ 所見 : ベンチマークが必要
- ・ 所見 : 外部要請と位置づけを明確にするべき
- ・ 所見 : 都市研究と連携が必要
- ・ 所見 : 研究内容と対比して予算が少ない

2. 主な所見に対する回答

- ・ 所見 に対する回答: 学会投稿については普段心掛けていますが更に推進をはかりたい。政策支援の作業は必ずしも学術的知見と一致しないところもあるが、研究プロジェクトの成果を出来るだけ効率よく学術論文の投稿にも反映させる必要がある。なお、本研究課題の成果については建築学会論文集に1編を投稿中である。
- ・ 所見 に対する回答: 計算結果と合わせて、計算の前提条件や精度等をできるだけ記載して齟齬がないように配慮する。計算結果の数値が一人歩きする傾向はあるが、理論的裏付けを求められた際の説明は出来るように心掛けたい。
- ・ 所見 に対する回答: 建築学会でベンチマークの企画が行われており、モデル開発の成熟度を見ながら参加の方向で調整を行う。
- ・ 所見 に対する回答: 外部要請では例えば体感温度の算出が求められているが、本研究課題ではそのための基礎的計算方法を検討し、その応用部分は外部活動として実施する仕分けとしている。現在のところ問題はないが外部要請に振り舞わされないよう心がけることは重要であると考えます。
- ・ 所見 に対する回答: 御指摘の通りである。現在、都市研究グループおよび国総研の都市研究部と情報交換を行いながら研究を推進しているところであり、本研究課題の成果と都市計画の接点を定期的に議論している。また、来年度から開始の総プロにおいて都市研究との連携を強化する方向で調整を進めているところである。
- ・ 所見 に対する回答: 研究予算の不足に対しては科研費等の外部資金の申請につとめているところである。また、重点研究支援制度を活用して専門スタッフを任期活用したり、大学や民間の専門家を招聘するなどの工夫も行っているところである。その上で研究予算が上積みされれば申し分ない。